

第1回 志染・緑が丘中学校区統合準備委員会 議事録（要旨）

日 時： 令和元年10月28日(月) 午後7時～9時

場 所： 志染町公民館

出席者：

構 成 員 三宅仁見 藪本耕一 田中隆次 大西秀樹 今枝睦典
猶原恵理 酒井一輝 東口由美 南雅士 林秀樹
山本学道 前田義典 野口博史 金川悟
西臺士郎 横田浩一 高郷裕次

事 務 局 西本則彦教育長 石田英之教育総務部長
奥村浩哉教育振興部長 坂田直裕学校教育課長
長池陽作教育施設課長 鍋島健一学校教育課副課長
山本智康学校教育課主査 小柳陽学校教育課主査

1 開会

2 自己紹介

- (1) 委員自己紹介
- (2) 事務局自己紹介

3 委員長、副委員長の選出

(事務局)

本準備委員会の代表者として、議事進行や調整に当たっていただく委員長及び副委員長を選出させていただきます。

設置要綱の第4条に「準備委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。」とあるが、どのようにさせていただきますとよいか。

(委員)

今回は志染中学校と緑が丘中学校の統合ということだが、現在一番生徒数が多いのは青山地区なので、青山地区の三宅区長協議会長にぜひお願いしたい。

【拍手多数】

(事務局)

皆様のご承認をいただいたので、委員長を三宅仁見様をお願いしたいと思う。副委員長についてはどのようにさせていただきますとよいか。

(委員長)

今回の統合については、地域の課題も多いのではないかと思うので、志染地区の藪本区長協議会長にお願いできればと考える。

【拍手多数】

(事務局)

皆様のご承認をいただいたので、副委員長を藪本耕一様をお願いしたいと思う。

では、委員長、副委員長にごあいさついただく。

(委員長)

大変な役を引き受けたと思っている。話に聞くとところによると、子どもたちがどんどん減ってきている。そんな中で学校の再編、統合をしていかないといけない。これから、志染中と緑が丘中の統合に際して、子どもたちの立場を十分に考えながら、慎重に審議を進めていきたい。皆様の協力なくしてはやっていけない。よろしくお願い申し上げます。

(副委員長)

私には子どもが二人おり、二人とも志染小学校、中学校を卒業しているので、いろんな思い出がある。中学校が統合することになり、少し寂しい思いもあるが、未来に向けてより良い子どもの教育環境を作っていきたいと思う。皆様の協力を得ながらやっていきたいと思う。よろしくお願い申し上げます。

4 説明事項（事務局説明）

- (1) 三木市立学校の学校再編に関する実施方針について
- (2) 統合準備委員会について
- (3) 部会の設置について
- (4) 検討スケジュールについて

(委員)

第2回の会議からは公開になるということなので、会議が終われば協議された内容は公開されると思う。しかし、今日の内容については、誰が委員になって、委員会をどう進めていくのかということが協議されるのに、それが市のホームページに1か月経って掲載されるということになると、保護者や地域の方に不信感が生まれてしまう。だから、例えば、委員の方の名前を全部知らせてもいいのか、部会長や副部会長が部会で協議した内容を知らせてもいいのかということなどを伺いたい。

(事務局)

今日の会議は、非公開というわけではなく、1回目の会議であり、設置要綱に含まれる会議の公開、非公開についても協議する必要があったため、傍聴の方は入っていない。会議の内容については、議事録を作成して公開する。できれば多くの皆様に見ていただきやすいように、議事録以外にも便りのような分かりやすいものを作ってお知らせしていきたいと思っている。

(委員)

事前に対象学年の保護者会を開いて意見交換をしているので、委員会の内容はある程度早く知らせていかないと不信感が生まれると思う。だから、明日にはこちらが何か作って委員会の内容を保護者に知らせてもいいのか、市教

委から何か出るまでは保護者には知らせてはいけないのか、それをはっきりしてもらいたい。

(事務局)

今日の内容については公開したいと思う。ただ議事録については、内容の確認作業があるので少し遅れる。便りについては、できるだけ早く出したいと思う。

(委員)

ホームページには載せないのか。紙媒体で知らせるとするのは時間がかかると思う。

(事務局)

最終的には、全てホームページにも載せるようにする。

(委員)

最終的にというか、先にホームページに載せるのは都合が悪いのか。先ほど委員からも出たように、お知らせに1か月もかかるようではあまり意味がないと思う。

(事務局)

議事録は少し時間がかかる。ただし、ここで決まった内容は便りとして載せたいと思う。その便りについては、できるだけ早く市のホームページや学校のホームページを使いながら、どんどん知らせていきたいと思う。学校が出す学校便りに似たようなものになると思う。内容については、委員長、副委員長にも確認いただきたいので、今日できたものを明日というわけにはいかないが、できるだけ1週間から10日ぐらいのスパンでいきたいと思う。ご容赦いただきたい。

(事務局)

細かい内容については、今申し上げた方法でお知らせしたいと思う。やはり、子どもたちや保護者や地域の皆様には、「統合準備委員会が始まりました。」「今後こういった協議がなされていきます。」というような、今日協議されたおおまかな内容や決定した内容については、できるだけ早くお伝えする方がいいと思う。したがって、おおまかな内容については、学校長の判断で子どもたちや保護者や地域の方に情報提供いただき、内容によっては市の教育委員会に問い合わせるといった形で、内容を表に発信していくということではいかかか。

(委員)

いつになるか分からないというのが一番困るので、時期が分かればそれでよい。

(委員)

学校長経由で出すのは、可能であるということではよいか。

(事務局)

今日決まった内容についてはそれでよい。

(委員)

基本的には公開でよいか。ホームページを作って発信しようと思っている。

(事務局)

統合準備委員会については基本的には公開でよい。今後は、傍聴の方がおられる場合もある。

ただし、部会については非公開にしたい。先進地域に、成功事例やどうやったらスムーズに協議が進んでいくのかということなどを聞いている。その中で、部会ではひざとひざをつき合わせて、いろいろな内容を議論のテーブルの上に乗せるので、部会を開いている時に傍聴の方がいると、会議がなかなか進まないことがある。このため、部会は非公開にした方がよいというアドバイスもいただいている。

(委員)

委員名も公開でよいか。

(事務局)

基本的には、公開にさせていただきたい。

(委員)

議事録には、誰の発言内容かを記載するのか。

(事務局)

他市町の資料を見ても、出席者についてはどこの資料にも明記されている。ただ、誰がどのような発言をしたのかということは記載されていなかったように思う。ここでは自由闊達な意見が必要であると思うので、誰の発言か分かるような議事録にはしない方がいいのではないかと思う。

(委員)

議事録の発言に「〇〇委員」というように名前を記載しないようにするということか。

(事務局)

「委員」とだけ記載するようにする。ただし、委員長、副委員長については、会のまとめをするときなどは、「委員長」「副委員長」と記載することがあるのでご了承いただきたい。

(委員)

議事録も1週間から10日でできるのか。

(事務局)

議事録は1週間から10日では難しいと思う。1か月ぐらいはいただくとと思う。

ただし、便りについては、委員会で決まった内容、部会で決まった内容を記載し、お知らせすべき主なことは網羅できるような内容にする。それを1週間から10日位でお知らせしていきたいと考えている。

(委員)

今日は、当日に資料をいただいた。これからもこういう方法で会議を行うの

か。

(事務局)

いろいろなことが考えられる。事前に読み込んでいただいた方がよい資料であれば先にお渡ししたいと思う。しかし、部会で議論を積み上げてきた内容や、事務局にお知らせいただくタイミングによっては、事前にお配りできない場合もある。ある程度判断して、事前にお読みいただいた方がよい内容については事前にお送りするようにする。

(委員)

その判断を事務局がされたら、こちらとしては先に見ておきたかったという場合もあるかもしれない。今日の資料も、別に異論は無いが、読み込んでおくと、議論をするという場合には、より深い議論になると思う。だから、できることなら事前に配っていただいた方がよい。

(事務局)

配布資料の内容については、事務局で検討させていただきたい。統合準備委員会では、部会で決まったことを承認するという作業が中心になると思うが、その承認事項を事前に皆様に見ていただくのは難しいかもしれない。しかし、議論するべきと判断した内容については、できるだけ事前に資料をお渡しする。

5 第1回部会（各部会に分かれて、次の内容を協議）

- (1) 部会長・副部会長の選出について
- (2) 連絡方法の確認
- (3) その他

6 部会からの報告

(1) 総務部会

部会長 山本学道 副部会長 野口博史 大西秀樹

(2) PTA 部会

部会長 大西秀樹 副部会長 酒井一輝

(3) 学校運営部会

部会長 野口博史 副部会長 山本学道

(4) 通学・安全部会

部会長 田中隆次 副部会長 今枝睦典 東口由美

7 その他の協議事項

(委員)

制服について、もう業者と打ち合わせをする時期にきているので、今の志染小学校6年生については、保護者の方のご意向を聞きながら進めていきたいと思っている。

私としては、保護者のご意向にそって子どもにとって良い方向にしたいという考えでいる。現中1の制服については、部会で話をされると思うが、小6に関してはここで了承をいただきたい。

(事務局)

保護者のご意向にそって進めて、決まった内容を統合準備委員会で事後報告という形でよいか。

(委員長)

それで進めていただいてよい。

(委員)

予算の編成について、議論を進める中で必要になってくるものもあると思うが、市の当初予算には間に合わない状態にもなるかもしれない。その場合、後で予算を追加することはありえるのか。

(事務局)

現在、市では教育委員会のみではなく、関係各課と来年度予算について、学校の統合に関わる様々なことを調整している。例えば、緑が丘中学校に自転車置き場が必要になる等、前もって分かっていることについては対応していきたい。しかし、委員が言うように、協議を進めていく中で、気付かなかったことが出てくることもあると思うので、補正予算ということも頭の中には入れながら統合準備を進めていきたい。

(委員)

市でも当然気付かなかったことも出てくるだろうし、保護者の中で気付かなかったことや伝えきれなかったことも出てくると思うので、その時に提案やお願いや要望をさせていただくこともあると思う。そういうことも考えておいていただきたい。

(事務局)

必要と判断される予算については、補正予算をお願いすることになるかと思う。

(委員)

志染地区の保護者の方が学校に車で行けるようお願いしていたが、役所の回答では、緑が丘公民館、青山公民館に車を停めて歩いてきてもらうということだったが、その考え方は変わらないか。

(事務局)

現在のところは変わらない。学校運営上の配慮すべき内容になってくるので、基本的にはその姿勢で行かせていただきたい。協議を進めながら、最終的には結論を出さないといけないと思っている。

8 今後の日程等について

(事務局)

次回の日程について、12月16日から19日を第一候補としている。ここま

でに部会を開催し、第2回目の委員会で報告していただくということになる。ご意見がなければ、第一候補で調整させていただく。

(委員)

各小中学校の保護者への説明会等についてはどう考えているのか。

(事務局)

委員長、副委員長と相談をしないといけない。ある程度議論が進み、様々なことが決定した段階で、必要であれば保護者会を開いて、統合準備委員会で決まった内容をお伝えする。また、お伝えする内容やお伝えする段階についても、相談をさせていただかないといけないと思う。

(委員)

方向性が決まって、「このように進む」ということを、進んでいく前に、保護者が話を聞く機会があってもいいのではないかと思う。そういうことは考えているか。

(事務局)

そういうことは考えていなかった。委員の皆様には、それぞれの組織の代表として統合準備委員会に参加していただいているので、組織の意見を吸い上げていただくということは是非お願いしたい。その上で議論しないと、個人の意見だけの議論になってしまう。したがって、それぞれの地域の代表、PTAの代表として参加していただいているので、それぞれの意見を持ち寄ってきていただきたい。

(委員)

今こういう状況で、これからこのように進んでいくということを事務局から保護者の方に説明いただいた上で、委員が協議を進めていくというのがいいと思う。知らない間に進んでいくということは、いけないと思っている。

(事務局)

ご意見としていただく。学校とも相談しながら検討していく。統合準備委員会で決まった内容については、便りなどを使って、できるだけ小まめにお知らせをしていく。

(委員)

様々な意見や思いがあって、どの立場に立っても苦しく悩ましい問題を、ようやく進むべき道を示していただいたこと、保護者として感謝を申し上げます。

(事務局)

名簿に関しては、ホームページにも出るなので、ご了承いただきたい。又、会議の写真も撮影している。どんな雰囲気だったかを伝えるためだが、中には顔が分かってしまうようなものを掲載させていただくこともあるかもしれないが、ご了承いただきたい。

9 閉会

(副委員長)

スケジュールを見ても、1年半あると見るか、1年半しかないと見るか。まだ具体的なイメージが全然出てこないのが、感覚としては分からないが、部会によってはスケジュール感に差はあるかもしれない。これから半年、来年3月くらいまでが一番大変になるのではないかと思う。ベースになる部分をいろいろと決めていかないといけない。一番踏ん張りどころになるのではないかなと思う。年末年始もあり、忙しいとは思いますが、まずは3月まで頑張っていたらと思う。

いい統合が迎えられるよう、ご協力をお願いしたい。

(事務局)

事務局としても、学校再編を初めて経験する。様々な情報を集めて、子どもたちのために頑張ろうという一心でやっている。

先ほど本当に温かい言葉をいただき、気持ちが晴れたように思う。こういうひと時のために今まで頑張ってきた、これからもまた頑張れると思っている。

委員の皆様には、これからもご苦労いただくことになるが、お力添えをいただき、より良い統合が進むようよろしくお願い申し上げます。